

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 20 日(月) 18 時 30 分～ 20 時 30 分		
開催場所	美又まちづくりセンター	参加人数	8 人
出席議員	沖田真治、柳楽真智子、小川稔宏	議長	川神裕司
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ○あいのりタクシー事業を導入する以前は生活路線バスと追原地区で運行されているスクールバスへの混合乗車で交通手段の確保をしていた。(以下あいのりタクシー事業について) ○あいのりタクシー事業について、美又地区においては定期運航で行っており、現在は浜田市内便と江津便の 2 路線を登録制にして運行している。運行当初は引率も行っていたが利用することに慣れてきたため現在は行っていない。 ○定期便を導入する際にはアンケート調査を行い月曜日が最も多い意見であった。理由は通院の予約によるもの。 ○現在の利用者状況は固定化されてきている。利用しない理由は家族が近くに住んでいること、近所の方や知人が連れて行ってくれること、現在も何とか運転できることと把握している。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ○高齢化と人口減少で、集落の草刈りや溝掃除が厳しくなってきたので、支援が必要だ。		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について		

自由意見	【総務文教委員会】 ○民具伝承館があり運営は厳しいが、地元住民で何とか頑張っている。郷土資料館の建替えや神楽伝承館の建設の話など出ているが、できるだけハコモノは少なくしてほしい。
	【福祉環境委員会】
	【産業建設委員会】 ○美又温泉に公衆トイレが必要。新たな施設ができる時には休館日でも外から利用できるトイレを整備してほしい。 ○保養センターの敷地内（桜の木側）にベンチを設置してほしい。 ○現在保養センター内に産直があるが、日帰り温泉ができたらどうなるのか。 ○美又開発が進んでいるが自治会と温泉組合との協力がなくまとまっていない。 ○食事ができる所が必要。建物から自前で作ってやれる者はいないから市が作ってもやってもらうしかない。キッチンカーなども良いかもしれないが泉質が良くてもこのような状況では客が離れていってしまう。 ○豆腐やコンニャクを作っているが赤字続き、ほとんどボランティアのような状態で運営している。地元産品は高くても売れない。地元産品を販売する場所が保養センターの外にあった頃はよく売れていた。多目的スペースになっているスペースをかつてのように販売ができるように変えてほしい。 ○販路がないので黒米焼酎も自分で買って贈り物にしている。

令和 6 年 5 月 20 日 報告者 沖田真治